



重要文化財「明智光秀覚条々」
天正10年(1582)6月9日

4月25日(土)～5月14日(木)限定公開

歴史好き&大河ドラマファン必見！豊富な史料から光秀の実像に迫ります

足利義昭に仕え、のちに織田信長に重用された明智光秀は、主君を同じくする細川家初代・藤孝(ふじたか)と公私にわたり親密な間柄でした。そのため、細川家の文化財を管理する永青文庫には、信長が光秀や藤孝に宛てて出した書状など、光秀の動きを知ることができる数多くの史料が伝わっています。そこからは、一向一揆との対決や、信長を裏切った荒木村重討伐、丹後支配などの場面において、ふたりが常に連携しながら行動していたことがうかがえます。

本展では、最新の研究をもとに、光秀の最初期の活動実態をはじめ、織田政権下での軍事的手腕、盟友・藤孝との協働、本能寺の変の意義までを、歴史資料から読み解くことで、「謀反人・光秀」のイメージを覆す、先進的な智将としての新たな人物像を提示します。加えて、細川忠興(ただおき)に嫁いだ光秀の娘・玉(ガラシャ)の波乱に満ちた生涯も関係史料から紹介します。

■ 開催概要

展覧会名： 令和2年度春季展 財団設立70周年記念

新・明智光秀論 一細川と明智 信長を支えた武将たち一

主催： 永青文庫、熊本大学永青文庫研究センター、熊本県立美術館

協力： 熊本大学附属図書館

会期： 2020年4月25日(土)～6月21日(日) ※会期中、一部展示替えがあります

開館時間： 10:00～16:30 (入館は16:00まで)

休館日： 月曜日(但し5/4は開館し、5/7は休館)

入館料： 一般1000円(900円)、シニア(70歳以上)800円(700円)、大学・高校生500円

※()内は10名以上の団体料金

※中学生以下、障害者手帳をご提示の方およびその介助者(1名)は無料

お問い合わせ： 公益財団法人 永青文庫 〒112-0015 東京都文京区目白台1-1-1

TEL: 03-3941-0850 FAX: 03-3943-0454

見どころ① 謎に満ちた光秀の前半生が明らかに!?

近年、熊本の旧家で発見された「針葉方」(しんやくほう)。信長の家臣となる前の光秀が、琵琶湖の西側の近江田中城で医業の秘伝を口伝していたことが記され、若き日の光秀は医学に通じていたことが分かります。光秀の活動を示す最古の史料です。

「針葉方」

米田貞能(求政)書写 室町時代(16世紀)
個人蔵(熊本県立美術館寄託)



明智
十兵衛尉
(光秀)

見どころ② 光秀の盟友・細川藤孝

細川家初代・藤孝と光秀は、信長の指示のもと、連携しながら畿内近国で繰り広げられた一向一揆の矢面にたち、死闘を続けました。さらに、藤孝は領地・丹後において、検地の進め方や家臣団の統制など、光秀の全面的な関与のもとに、支配体制を構築していきました。その様子を、数多くの信長の書状からご紹介します。

「細川幽斎(藤孝)像」(部分)
江戸時代(18世紀) 永青文庫蔵



見どころ③ 本能寺の変を起こした本当の理由がここに!

本能寺の変からわずか7日後に、光秀から藤孝・忠興親子に宛てて出された三カ条「明智光秀覚条々」。自分の味方になってくれるよう協力を求めるとともに、今回の謀反は、自分の息子や忠興をはじめとした次世代へ権力を渡すことが目的であったのだ、ということがしたためられています。

日本史上最大の謎とされる「本能寺の変」の理由に迫ります。

重要文化財「明智光秀覚条々」
天正10年(1582)6月9日 永青文庫蔵

見どころ④ 光秀の娘・細川ガラシャの波乱に満ちた生涯

細川ガラシャ(玉)は、明智光秀の娘で、細川家二代・忠興の妻。本能寺の変後、忠興とは離縁、丹後山中の味土野(みどの)に幽閉されました。2年後、秀吉の許可を得て復縁、のちにキリスト教の洗礼を受けます。関ヶ原合戦に際しては、石田三成率いる西軍に包囲され、自刃。波乱に満ちたガラシャの生涯を関係史料からたどります。



「細川ガラシャ消息」 桃山時代(16世紀) 永青文庫蔵

見どころ⑤ ガラシャの夫にして、武将、茶人であった細川忠興とは?

本能寺の変後、藤孝から細川家の家督を譲られた忠興。忠興は、千利休の高弟としても著名な茶人の顔をあわせもっています。忠興所用の茶道具や刀剣とともに、彼の人物像をご紹介します。「歌仙兼定」は3年ぶりに永青文庫に再登場!



「粉引茶碗 大高麗」
朝鮮時代(15~16世紀)
永青文庫蔵



千利休作「茶杓 銘 ゆがみ」
桃山時代(16世紀)
永青文庫蔵



和泉守兼定作「刀 銘 濃州関住兼定作」
(歌仙兼定)
室町時代(16世紀) 永青文庫蔵

《記念講演会》

講師: 稲葉継陽 氏

(熊本大学永青文庫研究センター長)

日時: 2020年5月2日(土)

13:30~15:00

会場: 日本女子大学

新泉山館1階大会議室

(東京都文京区目白台1-19-10)

定員: 140名

令和2年度 春季展「新・明智光秀論—細川と明智 信長を支えた武将たち—」
 広報画像申請書

2020年4月25日(土)～6月21日(日)

貴社名:	媒体名:
ご担当者名:	ご所属:
TEL:	FAX:
ご住所:	
E-mail:	掲載予定日: 年 月 日

掲載概要:(コーナー名、画像の掲載サイズ など)

◆ご希望の写真番号に○を付けてください。



1 「細川幽斎(藤孝)像」
 江戸時代(18世紀)、永青文庫蔵



3 重要文化財「織田信長黒印状」
 天正5年(1577)3月15日
 永青文庫蔵(熊本大学附属図書館寄託)



4 重要文化財「明智光秀覚条々」
 天正10年(1582)6月9日、永青文庫蔵
 4/25～5/14期間限定展示



2 「針薬方」米田貞能(求政)書写 室町時代(16世紀)、個人蔵(熊本県立美術館寄託)



5 「細川ガラシャ消息」 桃山時代(16世紀)、永青文庫蔵



7 和泉守兼定作「刀 銘 濃州関住兼定作」
 室町時代(16世紀)、永青文庫蔵



8 千利休作「茶杓 銘 ゆがみ」
 桃山時代(16世紀)、永青文庫蔵



6 重要文化財「洋人奏楽図屏風」
 桃山～江戸時代(17世紀)、永青文庫蔵(熊本県立美術館寄託)

【広報画像ご使用に際してのお願い】

- ※写真の使用は、本展覧会のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- ※展覧会名、会期、会場、作品名称、所蔵者を必ずご掲載ください。
- ※掲載誌は1部ご惠贈願います。

【個人情報の取扱いについて】

- ※ご記入いただきました個人情報は、当館からの展覧会情報のご案内にのみに使用いたします。
- 許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。